



取締役頭取

金城棟啓

GREETING ごあいさつ

皆さまには、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
多くの皆さまに琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」(2012年度中間ディスクロージャー誌)を作成しました。

平成24年度上半期の国内経済は、復興需要などを背景に緩やかな回復基調にあったものの、世界経済の減速等により輸出が弱含んだことなどから、一部で足踏み感が台頭しました。

沖縄県経済は、個人消費が堅調な中、台風の影響などから一部で弱含みの動きとなり、観光は入域観光客数が横ばいとなったことから持ち直しの動きが一服したものの、建設では民間建設投資の回復基調をうけて持ち直しの動きとなったことから、緩やかな回復基調が続きました。

当行においては、「現状を突破するための新たなビジネスモデルの確立」を経営目標とする中期経営計画「Break Through 2012」をスタートさせた今年度は、事務プロセスの見直しによるクイックレスポンス態勢の確立、成長分野へのサポートによる法人取引における営業力の強化、リテール営業力の強化による個人取引基盤の拡大などに積極的に取り組みました。

当行は、平成24年4月からスタートした中期経営計画「Break Through 2012」に沿って、コンプライアンス(法令等遵守)態勢や堅確な事務態勢の維持を基本としつつ、地元沖縄の持つ高いポテンシャルを引き出し、地域経済の発展に貢献することを通じて当行自身の成長を実現する沖縄のリーディングカンパニーとしてお客さまからの高い信頼と支持をいただけるよう努めてまいります。

平成25年1月